

県民・事業者の皆様へのお願い

コロナ前の日常に戻ったわけではありません。引き続き、感染リスクが高まる「5つの場面」の回避をはじめ、感染防止対策の徹底をお願いします。

ア) 県境をまたぐ移動(県民の皆様、県外の皆様とも)

- ・県外との不要不急の往来、および来県を自粛(オンラインを活用)
- ・**やむを得ず、往来、来県する場合でも用務先への直行直帰を**

イ) 飲食

< 県民の皆様へのお願い >

- ・新しい生活様式の遵守に加え、原則マスクを着用
- ・大人数・長時間での飲食は慎重に判断
- ・**「いしかわ新型コロナ対策認証店舗」の利用**

< 事業者の皆様へのお願い >

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・従業員はもとより、**来店者に対する原則マスク着用の注意喚起**など感染防止対策の徹底

県民・事業者の皆様へのお願い

ウ) 職場

- ・「**居場所の切り替わり**」(休憩室、更衣室、喫煙室等)に注意
- ・テレワーク、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組の推進
- ・事業場の換気励行、昼休みの時差取得など、感染防止対策の徹底
- ・業種別ガイドラインの遵守

エ) 家庭内・学校

引き続き、児童・生徒の感染が確認されております。

- ・家庭内においても、**気を緩めることなく、新しい生活様式など感染防止対策の徹底を**
- ・学校においては、**新しい生活様式など基本的対策のほか、飲食や部活動の場面での感染防止対策の徹底を**

感染リスクが高まる「5つの場面」

参考

場面① 飲食を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



感染リスクが高まる「5つの場面」

参考

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

